



坂戸市立坂戸小学校 笑顔・感動・花いっぱい

夢道場・坂戸小だより

【学校教育目標】

○やさしく (徳)

○かしこく (知)

○たくましく (体)

学校経営方針 「明るく 元気に 爽やかに すべての対応を親身になって丁寧に」

令和3年9月30日  
第13号

## 「素直な心」を育む～『過ちて改めざる、是を過ちと謂ふ』～

【校長講話より】2学期が始まり、一か月が経ちました。感染症予防に努めながらも、皆さんが元気に頑張っている姿がたくさん見られて嬉しく思います。「坂小っ子の合言葉」(=学校教育目標)『やさしく かしこく たくましく』を大切にしている証拠です。校長先生が皆さんの教室を回りながら授業中の様子を見ても、先生やお友達の話をよく聴いたり、積極的に発表したりして授業に集中している様子がよく伝わってきます。運動会の練習も頑張っていますね。皆で力を合せて運動会を成功させましょう。

さて、今日のお話は、「間違いや失敗」についてです。お話を聴いて、一緒に考えてみてください。

まず、「教室での授業中の間違い」について考えてみましょう。皆さんの中には、「答えが間違っていたら嫌だから手を挙げたくないな」、「間違っていたら恥ずかしいし、皆から笑われるかもしれない」など、「授業で発表するのが嫌だ」と思っている人はいませんか。では、そのままいいでしょうか。これから、教頭先生に、ある有名な本の一部を読んでもらいますね。

教室はまちがうところだ みんなどしどし 手をあげて まちがった意見を 言おうじゃないか  
まちがった答えを 言おうじゃないか まちがえることを おそれちゃいけない まちがったものを  
ウラっちゃいけない まちがった意見を まちがった答えを ああじゃないか こうじゃないかと  
みんなで出しあい 言いあう中で ほんとのものを見つけていくのだ そうしてみんなで 伸びていくのだ  
～『教室はまちがうところだ』(蒔田晋治・著)より抜粋～

いかがですか。読んだことのある人も多いのではないですか。この後にも、素敵な言葉が続き、最後に「そんな教室つくろうや/ みんなでしゃべってつくろうや」と。是非、これからも、先生方や皆さん同士が一緒になって「そんな教室」をつくり続けてほしいです。

さて、もう一つの詩を紹介します。金子みすゞという有名な人の詩です。【詩の朗読】。いかがですか。皆さんは、お友達に「チクチク言葉」など、つい嫌なことを言ってしまったことはありませんか。他にも普段の生活の中で、後で後悔するような間違いや失敗をしたことがある、という人はいますか。心の中で、手を挙げてみてください。ありがとう。校長先生は、今、放送室にいますが、皆さんが心の中で手を挙げてくれたのが見えたように感じました。そうです。生きていく上で、間違いや失敗

をしない人などいません。大人だってそうです。ましては、これから大人になるために一生懸命に成長しようとしている皆さんが、間違えたり、失敗したりするのは当然のこと。大切なのは、間違いや失敗をした時の態度です。間違いや失敗に自分で気がついたり、他の人に言われて気がついたりした時に、それを素直に認め、勇気を出してやり直せるかが大切なのです。もし、その間違いや失敗で人を傷つけてしまったとしたら…。皆さんなら、すぐに「ごめんなさい」「すみませんでした」と謝ると思います。そして、二度とそのようなことをしないように、気をつけると思います。それは、人の生き方としてとても大切なことなのです。その反対に、言い逃れをしたり、ごまかしたりするのはよくないことです。ついつい間違いや失敗をした時には、恥ずかしいという気持ち起きるかもしれませんが、すぐにそれを認めて謝り、二度と同じことをしないように努力することが大切なのです。皆さんは、昔の中国の孔子という人を覚えていますね。そう、「己の欲せざる所は、人に施す勿れ」の孔子です。孔子は、こんな言葉も残しています。『過ちて改めざる、是を過ちと謂ふ』。「過ちは、間違いや失敗のこと。つまり、間違いや失敗をしても、それを二度としないように気をつけたり、直そうとしたりしない。それこそが本当の間違いや失敗である」という意味です。この言葉も覚えてくれたら嬉しいです。今日もお話をしっかり聴いてくれて、ありがとう。

こたまでしょうか  
「遊ぼう」っていうと  
「遊ぼう」っていうと  
「馬鹿」っていうと  
「馬鹿」っていうと  
「もう遊ばない」っていうと  
「遊ばない」っていうと  
そして、あとで  
さみしくなって、  
「ごめんね」っていうと  
「ごめんね」っていうと  
こたまでしょうか、  
いいえ、誰でも。



## 【早寝・早起き・朝ごはん～『体内時計との関係』】

2学期が始まり約一か月がたちました。8月の生活目標は、「規則正しい生活をしよう」。坂小・夏休みの合言葉＝『かきごおり』の最初の「か」は、「必ず毎日、早寝・早起き・朝ごはん」でした。夏休みが明け、学校生活が始まってからのお子さんの生活はいかがでしょうか。

子供たちが健やかに成長するためには、調和のとれた食事、十分な休養・睡眠、適度な運動がとても大切です。今日の一



日、「よく体を動かし、よく食べ、よく眠る」という成長期の子供たちにとって当たり前で必要不可欠な基本的習慣の乱れが、**学習意欲、体力、気力の低下の要因の一つ**として指摘されています。そこで、子供たちの基本的な生活習慣を確立させ、生活のリズムの向上を図る必要があります。

私たちの身体の中に時計があることをご存じでしょうか。地球が24時間ごとに1回転(＝地球の自転)することによって、地球には朝、昼、夜という明暗が生まれています。また、地球が太陽の周りを1年かけて回る(＝地球の公転)ことで、春夏秋冬といった季節の変化が発生しています。こうした1日のリズムや季節の変化により良く対応するため、人も含めて地球上に暮らすほぼ全ての生物は、「体内時計」と呼ばれる時間や季節などを知るメカニズムを持っています。

人の体内時計の周期は通常、24時間より長めに設定されていて、起床後、日光を浴びたり、朝食を食べたりすることで、体内時計が早まり、24時間に調節されることがわかっています。また、人の体内時計には、日中は活動して夜は眠るといった昼行性の動物の行動パターンを取る前提で、身体の様々な動き(睡眠リズムや体温調節のコントロール等)が決まった時刻にプログラミングされています。ですから、「早寝・早起き・朝ごはん」を実行することで、**勉強やスポーツなどで自分の力を最大限に発揮できるだけでなく、心も身体もベストな状態にすることができます。**是非、ご家庭でもお子さんの基本的な生活習慣の確立や生活リズムの向上に繋がることをできることから始め、子供たちの健全な育成を図ってまいります。(参考:文部科学省『早寝早起き朝ごはんで輝く君の未来』)



## 【『令和3年度就学援助に係る特別措置』のお知らせ】

『新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変した世帯への就学援助について』の文書を配付しました。申請希望のご家庭は、必要書類を10月29日(金)までに、学校教育課または学校へご提出ください。

## 【『子どものインフルエンザ予防接種費用の全額助成』のお知らせ】

坂戸市より、『子どものインフルエンザ予防接種費用の全額補助』のお知らせがありました。市内小学生も対象となります。助成金の交付につきましては、通知並びに坂戸市ホームページでご確認ください。

## 【10月の主な行事予定】

- 【10月の生活目標】たくさん本を読もう
- 1日(金) 2年町たんけん(1組)
  - 4日(月) 体育朝会(運動会練習)  
2年町たんけん(2組)
  - 5日(火) 体育朝会(運動会練習)
  - 6日(水) 特別4日課, 2年町たんけん(3組)  
就学時健康診断
  - 7日(木) 体育朝会(運動会練習), 委員会  
4年非行防止教室
  - 8日(金) 3年社会科見学, 6年修学旅行説明会
  - 11日(月) 体育朝会(運動会練習), 1～4年4日課  
運動会役員打合せ(5・6年生)
  - 12日(火) 1～5年4日課, 6年5日課, 運動会準備
  - 13日(水) 運動会 \* 弁当持参
  - 14日(木) 運動会予備日①  
おもちゃまつり(1・2年)
  - 15日(金) 運動会予備日②  
おもちゃまつり(1・2年)
  - 18日(月) お琴学習, おもちゃまつり(1・2年)
  - 19日(火) お琴学習
  - 20日(水) お琴学習, 1年防犯教室  
3年非行防止教室
  - 21日(木) お琴学習, 2年防犯教室, クラブ
  - 22日(金) 4年社会科見学(1組)
  - 26日(火) お話朝会, お琴学習  
5年社会科見学(オンライン)
  - 27日(水) 4年社会科見学(2組)
  - 28日(木) 6年連合運動会通信記録会, クラブ
  - 29日(金) 登校指導, 4年社会科見学(3組)  
お琴学習, すこやか相談日
- ※ 詳細は、学年だより、学校HP等でご確認ください。

## 【新しい職員の配置について(お知らせ)】

ここで職員の異動がありますのでお知らせします。栗原 睦子 校務員の退職に伴い、10月より、池田 隆子 校務員が新たに配置されます。また、同じく10月より、平田 妃香 校務支援員が新たに配置となります。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

## 【校長室より】『失敗を恐れない子供に』

校舎内を巡回していると、温かな気持ちになる。ある授業風景。「良い間違いをしてくれたね」と教師の声。「失敗は成功のもと!〇〇さんが、この問題でどうしてこのように考えたのか一緒に考えてみよう!」。そして、最後には「〇〇さんの間違いのお陰で、違った答えの出し方が見つかったね。ありがとう。」クラス全員が間違えた子に感謝し、間違えた子にも笑みが。間違いや失敗を価値あるものとして、そこから新たな発想や工夫を導き出すことの大切さ。失敗を恐れず、簡単に挫折しない子を育てたい。